

# 研究の概要

20 21 年 10 月 25 日

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名：	精液所見が人工授精の妊娠率に与える影響
代表研究者 (所属・氏名)：	生殖技術部門 阪本なつき
研究の目的：	人工授精は、高度不妊治療に比べ身体的にも経済的にも負担が少なく、治療の第一段階として選ばれることも多い。人工授精において、適切な情報を患者に提供するため。
調査データ該当期間：	20 16 年 1 月 1 日 ~ 20 20 年 12 月 31 日
研究の方法 (使用する試料/情報等)：	2016年1月~2020年12月に当院で施行した人工授精、5867周期について、精液処理後の精液所見の違いにおける妊娠率を比較検討した。
個人情報の取り扱い：	研究に用いる患者個人情報の保護、プライバシーの尊重に努力し最大限の注意を払います。患者試料を分析する際には、連結可能匿名化を行います。また試料の分析から得られる情報についても、厳重な管理とセキュリティ体制の整備を徹底し、連結可能匿名化を行い、符号のみで取扱いますので、個人情報は伝わりません。
本研究の資金源 (利益相反)：	利益相反状態はない。
お問い合わせ先 ：代表電話 ：担当者(部門・氏名)	IVFなんばクリニック 06-6534-8824 生殖技術部門 阪本なつき
備考	